

# 2019年度 事業結果報告書

(自) 平成31年 4月 1日

(至) 令和 2年 3月31日

## —概要—

2019年度は、協会の目的達成のため、消防用設備等に関する講習会や研修会をはじめ様々な事業に取り組みました。また、出火防止に向けた取り組みとして、消防用設備等の点検報告率の向上、住宅用火災警報器の普及促進を目指した啓発活動や避難困難者住宅に設置されている住宅用火災警報器の点検奉仕活動などの公共性の高い取組について、京都府及び府内各消防本部と連携して事業に積極的に取り組みました。

## 1 通常総会

令和元年6月12日(水) ホテルグランヴィア京都 出席者138名(委任状出席含む)

## 2 講習会・研修会等

### (1) 消防設備士講習

京都府知事から消防法第17条の10に定める消防設備士講習の事務を受託し実施しました。

#### 第1回

京都市会場 令和元年8月30日～令和元年9月6日

福知山市会場 令和元年9月26日～令和元年9月27日

会場	消火設備	警報設備	避難設備・消火器	特殊消防	計
京都市会場	78(67)	190(215)	112(139)	14(14)	394(435)
福知山市会場	34(22)	58(50)			92(72)
計	112(89)	248(265)	112(139)	14(14)	486(507)

※(数字)は前年度実績

#### 第2回

京都市会場 令和2年1月21日～令和2年1月24日

福知山市会場 令和2年2月6日～令和2年2月7日

会場	消火設備	警報設備	避難設備・消火器	計
京都市会場	90(127)	219(263)	120(119)	429(509)
福知山市会場	—	36(33)	35(38)	71(71)
計	90(127)	255(296)	155(157)	500(580)

※(数字)は前年度実績

第1.2回の受講者合計 986名(1,087名)

## (2) 消防設備士受験対策講習

協会の独自事業として、消防設備士試験の受験者を対象に実施しました。

京都市会場 令和元年6月18日～19日、7月2日～3日、9日～10日

会場	消火設備	警報設備	避難設備・消火器	計
京都市会場	6 (4)	7 (17)	6 (10)	19 (31)

※(数字)は前年度実績 受講者合計 19 (31)名

## (3) 消防設備点検資格者講習及び再講習

(一財)日本消防設備安全センターから消防設備点検資格者講習及び再講習の事務委託を受けて講習を実施しました。

\* 消防設備点検資格者講習

※(数字)は前年度実績

区分	講習年月日	場所	受講者数
第1種	令和元年5月8日～10日	京都経済センター	89 (84)
第2種	令和元年5月29日～31日	京都経済センター	80 (80)

受講者合計 169 (164)名

\* 消防設備点検資格者再講習

※(数字)は前年度実績

区分	講習年月日	場所	受講者数
第1種	令和元年6月26日	京都経済センター	97 (125)
第2種	令和元年6月27日	京都経済センター	91 (127)

受講者合計 188 (252)名

## (4) 消防用設備等技術研修会

協会の消防用設備等の新たな知識、技能の習得を目的に実施しました。

(京都市会場)

日時	令和元年8月30日(金)午後1時30分から午後4時40分まで
場所	京都税理士会館3階 京税ホール
テーマ	・予防行政の動向について 講師 総務省消防庁予防課 総務事務官 畑澤 慎吾 氏
	・改正建築基準法の概要について 講師 国土交通省住宅局建築指導課 企画専門官 渡邊 峰樹 氏
	・各種法令改正を踏まえた京都市消防局の対応について 講師 京都市消防局予防部指導課 担当課長 篠木 宏行 氏
出席者数	121名

(北部会場)

日 時	令和2年2月17日(月)午後2時00分から同4時30分まで
場 所	綾部市北部産業創造センター
テーマ	・最近の予防行政の動向について 講師 綾部市消防本部次長兼予防課長 塩見 幸作 氏
	・消火器の訪問点検におけるトラブル防止等について 講師 (一社)京都消防設備協会事務局長 那谷 章
出席者数	41名

### 3 消防用設備等点検済表示制度の推進

消防用設備等の維持管理の徹底、点検実施者の責任の明確化及び防火対象物の点検の確実な履行の促進を目的に実施しました。

#### (1) 消防用設備等点検済表示管理委員会

令和元年 7月16日(火) 幹事会 協会会議室

令和元年12月13日(金) 表示管理委員会 京都ホテルオークラ5階会議室

#### (2) 消防用設備等点検済表示登録会員数

令和2年3月31日現在 ※(数字)は前年度末会員数

消防用設備等点検済表示登録会員数	
北 部	19 (21) 社
京都市内	100 (102) 社
南部(市外含む)	24 (25) 社
計	143 (148) 社

#### (3) 京都府・消防用設備等セミナー(消防用設備等の適正点検に向けて)

あらゆる法令を遵守する意識の醸成と、表示登録会員等の業務資質の向上及び点検済表示制度に対する理解と認識を高めることを目的に実施しました。

日 時	令和元年12月6日(金)午後1時30分から午後4時30分まで
場 所	京都市中京区竹屋町通烏丸東入清水町 ハートピア京都
テーマ	・点検報告時における留意事項と消防用設備等の奏功と事故事例 ・最近の消防法令等の改正 講師 (一財)日本消防設備安全センター違反是正支援センター 次長 岡田 康裕 氏 ・ 調査役 根廻 智哉 氏
出席者数	101名

#### (4) 点検推進指導員による巡回訪問

点検済証の信頼回復を目的に点検推進指導員が府内の表示登録会員を訪問し、点検報告制度と表示登録制度について再確認を行うとともに、情報交換を行いました。

## (5) 点検済票（ラベル）の交付状況

令和2年3月31日現在

※（数字）は前年度実績

点検済票（ラベル）の交付状況		
消火器用	603,000枚	(618,800)枚
設備用（消火器以外）	189,700枚	(175,100)枚
計	792,700枚	(793,900)枚

## 4 公益事業関係

### 避難困難者住宅の火災警報器点検奉仕活動

京都市の公的給付事業により避難困難者宅に設置されている火災警報器の点検奉仕活動を実施しました。

令和元年9月13日(金)、20日(金)

京都市内11行政区1地域 避難困難者住宅合計47カ所 正会員 12名参加

## 5 広報事業関係

### (1) 会報「まもり」発行

会報「まもり」第81号を令和元年8月に発行、第82号を令和2年3月に発行しました。

### (2) 協会ホームページの更新

協会ホームページの情報が新鮮なものとなるよう、令和元年7月と令和2年2月に更新しました。

## 6 文化厚生事業関係

研修及び会員相互の親睦を目的に、視察研修を実施しました。

令和元年11月7日(木) 奈良県 東大寺 会員16名参加

## 7 その他事業

### (1) 業務用図書等の斡旋、頒布

消防設備士受験対策講習会では、(一財)日本消防設備安全センター発行のテキストの注文取次、事務所における頒布の他、「建築消防 advice」等の参考図書を斡旋、頒布しました。

### (2) 防火・防災基準点検済証（セイフティマーク）、防火・防災優良認定証の頒布

令和2年3月31日現在

※（数字）は前年度実績

防火優良認定証		16 (16)	防火基準点検済証	10 (9)
防災優良認定証		(1)	防災基準点検済証	3 (3)
防火・防災優良認定証		5 (19)	防火・防災基準点検済証	1 (1)
			文字プレート	19 (18)

### (3) 廃棄消火器の処分等

「古い消火器の廃棄処分」や「防火相談」「住宅防火対策」など府民の方々から多く寄せられ

るご相談について、協会ホームページに関連情報を提供するとともに、会員の皆様方のご協力を頂いております。

## 8 表彰関係

### (1) 令和元年度京都消防設備協会表彰

優良会員表彰	有限会社平井式ポンプ工業 宮前 憲次
優良従業員表彰	近建ビル管理株式会社 安田 智明 奥滝電気株式会社 小牧 稔正 大槻ポンプ工業株式会社 小西 芳弘 ホーセック株式会社 山崎 紀彦 株式会社深田商会 本窪田 雅彦
優良事業所表彰	西村防災設備株式会社

### (2) 消防設備関係功労者等表彰

令和元年11月1日（金）東京都港区明治記念館で実施された令和元年度消防設備関係功労者等表彰式において、次の方々が受賞されました。

#### 消防庁長官表彰

消防庁長官表彰	有限会社乙訓防火サービス 井上 和夫
---------	--------------------

#### 一般財団法人日本消防設備安全センター理事長表彰

消防設備保守関係者表彰	株式会社ヤマト商会 横川 幸生 京放株式会社 永木 章裕
消防用設備等点検済表示制度推進優良事業所表彰	北山防災株式会社

## 9 会員数

令和2年年3月31日現在

※（数字）は前年度末会員数

正会員	197社（205社）
賛助会員	28社（29社）